

## 個別スーパービジョン グループスーパービジョン

社会福祉法人 共友会  
岡安 努

1

### この演習のねらい

- ① スーパービジョンについて理解すること
- ② 相談支援専門員にスーパービジョンの必要性について説明できるようになること
- ③ スーパーバイザーとして相談支援専門員に対してスーパービジョンを実践できるようになること
- ④ 相談支援専門員がスーパービジョンを受けることができるような仕組みを地域ごとに構築できるようになること

2

## 本日の内容・流れ（午前）

|               |    | 小単元<br>(項目)          | 学習内容  |                             | 形態       |
|---------------|----|----------------------|---|-----------------------------|----------|
| 時間            | 所要 |                      | 内容  | 使用する教材・ツール                  |          |
| 9:10 ~ 9:15   | 5  | スーパービジョンによる相談支援専門員支援 | 事務連絡  | —                           | —        |
| 9:15 ~ 9:17   | 2  |                      | ○午前の流れ説明  | 【受講者】<br>・振り返りシート           |          |
| 9:17 ~ 9:49   | 32 |                      | 小澤先生<br>講義動画 00:00~31:42<br>『スーパービジョンの各種理論と機能』<br>『スーパービジョンの具体的な展開方法』 | テキスト P127~P130<br>P130~P132 | 動画<br>視聴 |
| 9:49 ~ 10:24  | 35 |                      | 「個別スーパービジョン」<br>○個人ワーク・グループワーク<br>○ロールプレイの役作り説明                       | 資料①~⑤、⑩                     | 演習       |
| 10:24 ~ 10:29 | 5  |                      | 休憩  |                             |          |
| 10:29 ~ 11:19 | 50 |                      | 「個別スーパービジョン」<br>○ロールプレイ   | 資料①~⑥                       | 演習       |
| 11:19 ~ 11:49 | 30 |                      | 「個別スーパービジョン」<br>○グループワーク  | 資料⑧                         |          |
| 11:49 ~ 12:09 | 20 |                      | 全体共有  |                             |          |
| 12:09 ~ 12:35 | 26 |                      | 小澤先生<br>講義動画 31:43~56:06<br>『スーパービジョンの効果と留意点』                         | テキスト P132~P135              | 動画<br>視聴 |
| 12:35 ~ 13:35 | 60 | 昼休憩                  |   |                             |          |

## 振り返りシート記入

※本日の最後に再記入いただきます

# 講義『個別スーパービジョン』

『スーパービジョンの各種理論と機能』

『スーパービジョンの具体的な展開方法』

## 演習『個別スーパービジョン』

①演習内容と事例の説明【10分】

②個人ワーク【10分】

③グループワーク【15分】

休憩【5分】

④ロールプレイの説明【20分】

⑤ロールプレイの実施【30分】

⑥グループワーク【30分】

⑦全体共有【20分】※ 5 GP×3分+a

# ①演習内容と事例の説明（10分）

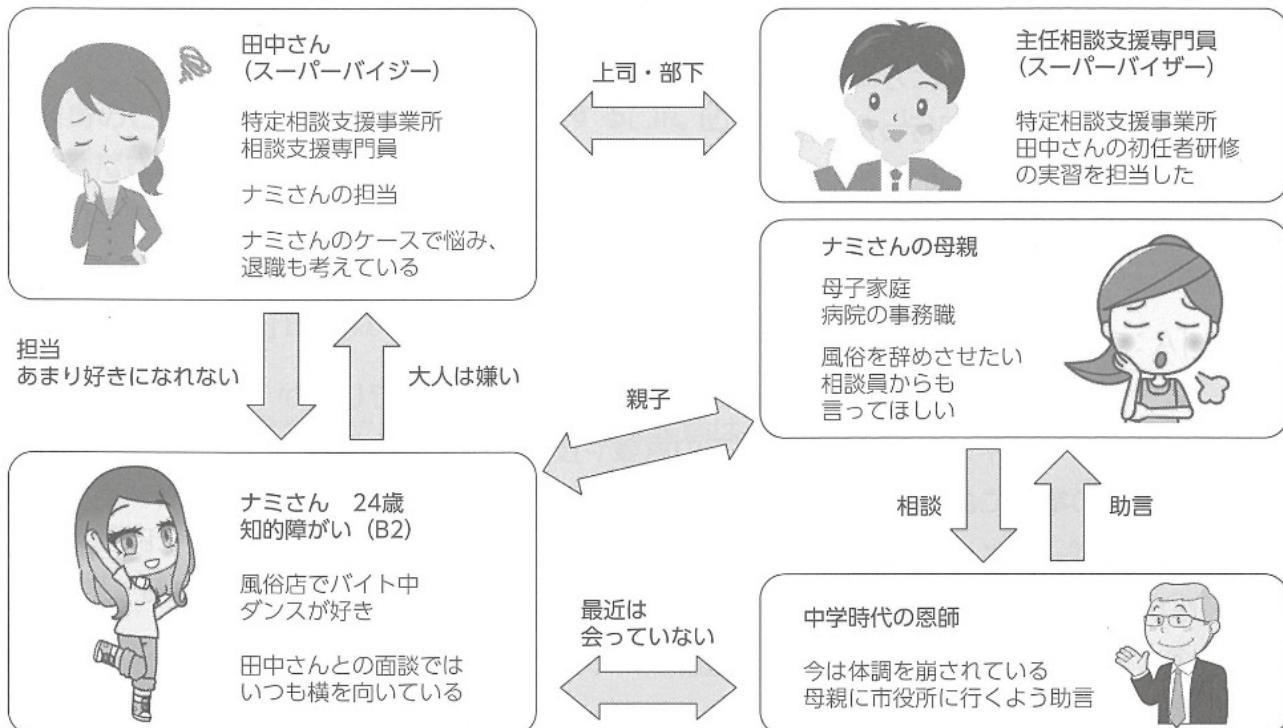
## 【9：49～9：59】

- 【資料①】 演習事例をご覧ください
- 後ほど、模擬個別SVをしていただきます
- SVR役とSVE役を担っていただきます
- 設定はSVEが地域のGSVで事例提出する準備支援のための個別SVです
- GSVで提出する事例様式を、事例検討ではなく、SVとして取り上げる内容に捉えられるよう、適宜修正することも含まれます

## 資料①演習事例（登場人物・相談の入り口・面接の概要）

### ●登場人物

相談支援専門員の田中さんは、ナミさんの相談支援を担当しています。



令和6年度主任相談支援専門員養成研修

### ●相談の入り口 (田中さんからあなたへの相談)

主任相談支援専門員のあなたは、相談支援従事者初任者研修で、受講者だった田中さんの実習を担当しました。

その後、ナミさんの相談支援を担当している相談支援専門員の田中さんから、主任相談支援専門員のあなたに連絡がありました。

地域ではケアマネジメント検証の機会として、すでに実地研修(OJT)が開始されているため、田中さんの事例を地域の相談支援の皆さんに考えてもらう機会を提案したところ、田中さんは承諾してくれました。

そして、田中さんの相談支援事業所を訪問する日時を約束しました。

令和6年度主任相談支援専門員養成研修

# ●面談の概要

(田中さんによる担当ケースの説明と悩みの打ち明け)

私(田中さん)が担当しているのは、ナミさん、24歳の女性です。

最初の面談は、母親とともに来所(1年前)されました。市役所に紹介され、母親がナミさんを連れて相談支援事業所を訪れました。

面談には、ナミさんも同席していましたが、横を向いて、話しかけてもまったく答えようとせず、母親との一方的な面談になりました。

ナミさんの母親は、「私の娘に障害はありません。学校では、軽度知的障害の疑いがあると、無理やり特別支援学級に入れられました。今でも、学校と教育委員会の対応には不満があります。今は、私と娘の二人暮らしで、夫とは娘が小6の時に離婚しています。私は、市立病院で事務職をしながら、女手一つで一生懸命娘を育ててきました」と話していました。

ナミさんは、小学校時代からダンスが得意で、人気歌手の振り付けを完璧に覚えることができたようです。高校は、地元の私立高校になんとか入学でき、母親が送り迎えをして卒業近くまで通いましたが、学校でいじめられたことが原因となって退学しています。

その後、しばらくは自宅から外出ができない状態でしたが、中学時代の恩師に支えられられ、なんとか外出することができるようになったと母親は話していました。

(次のスライドへ)

(続き)

ナミさんは、駅前のファストフード店に行くことが好きで、一人で過ごすことも多かつたですが、中学時代の友人と再会し、遊び仲間(旧ダンス仲間)となったようです。

夜遊びが多くなり、朝方に帰宅し昼間寝て夕方から出かけるような生活となり、困った母親は、中学時代の恩師に相談しましたが、先生も体調を崩しており、先生とのかかわりも途絶えてしまいました。

その後は、ナミさんが自宅に戻らない日が増え始め、帰宅すると高額なアクセサリーを身に着けているので、母親が問い合わせると、働いて買ったと答えたそうです。

そのときに、風俗店で働いていることを聞き出した母親は、風俗店で働くことだけは許せず、お店にも掛け合ったようですが、辞めさせることまでできなかつたと話してくれました。

ナミさんは、「彼氏が欲しい」「お金が欲しい」と口にすることが増え、うるさい母親から離れて「一人暮らしがしたい」と願っています。

そんなある日、恩師から母親に電話があり、「市役所に行って知的障害者の手帳の申請をしてはどうか、福祉作業所などの福祉サービスを利用したらどうか」と諭され、市役所に相談に行ったとのことでした。

その後、療育手帳(B2)を取得し、市役所から紹介されて、ナミさんは私(田中さん)の相談支援事業所に無理やり連れて来られました。

私は、この相談支援事業所では2年ほど働いています。社会福祉士の資格も取得し、毎日やりがいを感じて仕事をしてきましたが、1年ほど前から担当になったナミさんがあまり好きなれず、仕事を続けるか悩んでいます。

## ②個人ワーク（10分） 【9：59～10：09】

- 個人で
  - ・ 【資料②】 ワークシート1
  - ・ 【資料③】 ワークシート2
- で作業してください

## ③グループワーク（15分） 【10：09～10：24】

- 個人で作業した
  - ・ 【資料②】 ワークシート1
  - ・ 【資料③】 ワークシート2
- をグループメンバーと共有し、  
ワークシートの加筆・修正してください

## ④ロールプレイの説明（20分） 【10：29～10：49】

- 3人1組になり、SVR役・SVE役・観察者を決めてください
- SVR役には、
  - ・【資料④】事前ワーク（SVR用）
  - ・【資料⑤】事前資料（SVEの情報【SVR用】）を使用し説明します
- SVE役には、
  - ・「【資料⑤】事前資料（SVEの情報【SVE用】）」
  - ・「【資料⑩】SVE役手元資料」を使用し説明します
- 観察者には、
  - ・「【資料11】観察者シート」を使用し説明します

※SVE役と観察者は別室に移動

## ⑤ロールプレイの実施（30分） 【10：49～11：19】

- 【資料⑥】GSV事例様式を活用し、個別SVを実施してください
- 地域のGSVに事例を提供するため、提出事例の整理をし、「【資料⑥】GSV事例様式」を修正することを支援してください

## 資料⑥ GSV事例様式（修正前）【福井県・富山県様式版】

GSV事例様式（修正前）

グループスーパービジョン ワークシート

### GSV報告様式

|   |       |    |                      |     |           |
|---|-------|----|----------------------|-----|-----------|
| 2024年3月15日  | 何回目   | 1  |                      |     | 担当者名 田中   |
| (仮名)  | ナミ さん |    |                      |     |           |
| 年齢  | 24    | 性別 | 女                    | 障害名 | 軽度知的障害の疑い |
| 家族構成  |       |    | エコマップ<br><br>ダンスグループ |     |           |
| 提出理由（支援者自身が困っていること）<br>1年ほど前に、担当した色白のナミさんと関係が作れません。<br>どうしたら普通に計画相談ができるかアイデアが欲しい！   |       |    |                      |     |           |
| 本人の生活に対するイメージ、本人の言葉や行動<br>(母)娘が風俗で働いている。辞めさせたいが言うことを聞かない。どうしたらよいか？相談員からも言って辞めさせてほしい。どこかで働かせたい。<br>(本人)一人暮らしがしたい。彼氏が欲しい。お金が欲しい（小遣いが足らない） |       |    |                      |     |           |

### 経過と現状（概要）

1年ほど前に、母に連れられて来所した。近所の人から相談支援事業所に行くことを勧められた。どこでもいいから働かせたい、娘が風俗で働いているので、辞めさせたいが言うことを聞かない、相談員からも注意して辞めさせてほしいとのことであった。初回の面談中から、まっすぐに座らず、いつも横向きでいることが多い。「お金が欲しい」とのことなので、作業所を勧め、見学には行ったが気に入らないとの理由で、6か所全部断った。希望を聞くといつも「小遣いが欲しい」「彼氏が欲しい」というばかりである。友人は数名いてダンスグループになっていて、地元の不良グループとの付き合いとなっている。そのため、ほぼ毎日夕方まで寝ていて、夜は友人と遊んでいるよう深夜や朝方に帰宅することが多い。母親は勤務時間が長いため、すれ違いになることが多い。

成育歴は、未熟児で出生し、小学校4年生で特別支援学級へ変更になった。当時は父親が反対し、知的障害の手帳が取得できなかった。現在は、母親が同意したことにより障害者手帳の申請だけは進めている。地元高校に入学するが3年生で中退し（理由はいじめ）、ひきこもり気味になった。父親とは離婚し疎遠状態、母親が強く小言を言うので、最近では親子の会話もほとんどないこと。

| ストレングス | 性格・人柄／個人特性             | 才能・素質          |
|--------|------------------------|----------------|
|        | 環境のストレングス              | 興味・関心／向上心      |
|        | ・中学時代の先生が好きでとても信頼していた。 | ・遊園地・ファーストフード店 |

# 資料⑥ GSV事例様式（修正前）【石川県様式版】

## 1. タイトル（事例全体を言い表したもの）

普通に計画相談ができず悩んでいる、ナミさんとのかかわり

## 2. はじめに（事例提出の理由/課題と感じていること）

1年ほど前に、担当した色白のナミさんと関係が作れません。

どうしたら普通に計画相談ができるかアイデアが欲しい！

## 3. クライエントの概要（年齢・性別・家族構成（可能な範囲でジェノグラムも記載する）・経済状況・住居状況・心身の状態・日常生活の状態・利用しているサービス 等の基本情報／事例に登場する全てのクライエントの同意に関する記載）

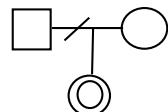
ナミさん（24歳、女性、母と二人暮らし、軽度知的障害の疑い）

「一人暮らしがしたい」「彼氏が欲しい」「お金が欲しい（小遣いが足らない）」

母

「娘が風俗で働いている。辞めさせたいが言うことを聞かない。どうしたらよいか？」

「相談員からも言って辞めさせてほしい。どこかで働かせたい。」



ダンスグループ

相談支援事業所

## 4. 事例の概要（生活歴・家族歴・職歴・現病歴 等）

未熟児で出生し、小学校4年生で特別支援学級へ変更になった。当時は父親が反対し、知的障害の手帳が取得できなかった。現在は、母親が同意したことにより障害者手帳の申請だけは進めている。地元高校に入学するが3年生で中退し（理由はいじめ）、ひきこもり気味になった。父親とは離婚し疎遠状態、母親が強く小言を言うので、最近では親子の会話もほとんどないとのこと。

中学時代の先生がとても好きで、信頼していた。

また、遊園地に出かけることや、ファーストフード店で食事することが楽しみになっている。

石川県主任相談研修GSV様式

## 5. かかわりの過程（あなたがかかわるようになるまでの経緯/あなたとご本人とのかかわり/ご本人の状況/あなたの想い、考え方、視点など）

1年ほど前に、母に連れられて来所した。近所の人から相談支援事業所に行くことを勧められてきた。どこでもいいから働くかたい、娘が風俗で働いているので、辞めさせたいが言うことを聞かない、相談員からも注意して辞めさせてほしいとのことであった。

初回の面談中から、まっすぐに座らず、いつも横向きでいることが多い。「お金が欲しい」とのことなので、作業所を勧め、見学には行ったが気に入らないとの理由で、6か所全部断った。希望を聞くといつも「小遣いが欲しい」「彼氏が欲しい」というばかりである。友人は数名いてダンスグループになっていて、地元の不良グループとの付き合いとなっている。そのため、ほぼ毎日夕方まで寝ていて、夜は友人と遊んでいるよう深夜や朝方に帰宅することが多い。母親は勤務時間が長いため、すれ違になることが多い。

## 6. 検討したい課題（スーパービジョンで議論したい内容）

本人が「お金が欲しい」と言うので作業所の見学を行ったが気に入らず、サービスにつながらない。普通に計画相談をしたいがうまくいかない。うまくいくアイデアが欲しい。

## 7. 全体の考察・課題（この事例にかかわってきて今感じていること/事例をまとめてみて感じたことや課題として考えたこと/今後のことで悩んだり迷ったりしていること等）

事例をまとめ、私がナミさんがあまり好きになれず、苦手意識を抱いていることを振り返った

それでも、できるだけ本人の思いを叶えたいと作業所を提案し、一緒に見学する等をしてきたがナミさんは「気に入らない」というだけで、うまくサービスにつなげられない。

他の相談員の先輩はサービスにつなげて計画相談をしているが、ナミさんとのかかわりですっかり自信を失ってしまった。

石川県主任相談研修GSV様式

## ⑥グループワーク（30分） 【11：19～11：49】

- 【資料⑧】ワークシート3を活用し、ロールプレイをした感想や気づきを話し合ってください
- SVR役、SVE役、観察者のそれぞれの立場での感想や気づきを共有してください
- 各立場の意見を聴いて、全体を通して改めて感想や気づきを共有し、意見交換してください

## ⑦全体共有（20分） 【11：49～12：09】

- 各グループ（3県全てのグループ）から、グループワークで話し合われた内容を発表いただきます
- SVR役、SVE役、観察者からそれぞれ、コメントいただきます
- 1グループ、2~3分程度でお願いします

# 講義『個別スーパービジョン』

『スーパービジョンの効果と留意点』

## 本日の内容・流れ（午後）

|               |    |                       |  |                             |          |
|---------------|----|-----------------------|--|-----------------------------|----------|
| 13:35 ~ 13:37 | 2  | 相談支援専門員に対する現場教育の方法と展開 | ○午後の流れ説明<br>小澤先生<br>講義動画 56:07~1:58:15<br>『スーパーバイザーとしての心構え及び視点』<br>『グループスーパーバイジョンの特徴と方法』 |                             |          |
| 13:37 ~ 14:40 | 63 |                       |  | テキスト P135~P136<br>P136~P144 | 動画<br>視聴 |
| 14:40 ~ 14:45 | 5  | 休憩                    |  |                             |          |
| 14:45 ~ 15:45 | 60 | スーパーバイジョンによる相談支援専門員支援 | 「グループスーパーバイジョン」<br>○演習   |                             | 演習       |
| 15:45 ~ 15:55 | 10 |                       | 休憩   |                             |          |
| 15:55 ~ 17:00 | 60 | グループスーパーバイジョン         | 「グループスーパーバイジョン」<br>○グループワーク  | 資料⑨                         |          |
| 17:00 ~ 17:10 | 15 |                       | ○まとめ<br>振り返りシートの記入   | 【受講者】<br>・振り返りシート           | 講義       |
|               |    |                       | ○事務連絡  |                             |          |

## 講義 『グループスーパーバイジョン』

『スーパーバイザーとしての心構え及び視点』

『グループスーパーバイジョンの特徴と方法』

# 演習『グループスーパービジョン』

## ①GSVの実施【60分】

- ・進め方の説明
- ・GSV演習

## ②地域の課題、協議会で話し合うことの共有【50分】

## ③全体共有【15分】

## ①GSVの実施（60分）

【14：45～15：45】

- 各グループにSVRとSVEがいますので、SVRの進行でGSVを実施してください

# グループスーパーバイジョンの進め方（45分）【福井県・富山県版】

※詳細は別紙参照

## ①準備・読み込み 3分

ステップ1：バイザーは事例様式を配布し、バイザーは読み込む

## ②報告・確認セッション 7分

ステップ2：バイザーは、提出した意図や理由、バイザーに求める助言は何かを伝える

バイザーは、現状や、すでに取り組んだことは何かを簡潔に説明する

## ③質問・確認セッション 15分

ステップ3：バイザーは、バイザーが求めることを考えるために、確認が必要な事項や追加情報を質問する

## ④アイデア出し・ブレインストーミングセッション 15分

ステップ4：バイザーは、1人称でバイザーが求めるアイデアを出す

## ⑤応答セッション 5分

ステップ5：バイザーは、示唆されたことに基づいた自分の気づきや次回以降に具体的に行う事は何か表明する

# グループスーパーバイジョンの進め方（55分）【石川県版】

グループスーパーバイジョンでは、1回につき1人が事例（かかわり）を提供します。提供された事例について、どのように支援していけばいいのかを話し合うのではなく、事例提供者の検討したい課題と一緒に考えることを目的としています。  
進行は、以下の流れに基づいて、スーパーバイザーが行います。

| スケジュール | 事例提供者  | 参加者   | ポイント  |
|--------|--|---|---|
| 15m    | 【検討したい課題の説明】<br>→検討したい課題<br>→クライエントとのかかわりの経過<br>→自身の考察                         |   | 提供事例の検討ではなく、事例提供者の検討したい課題（クライエントとのかかわり）を尊重して焦点化しつつ、参加者全員がソーシャルワーカーとして共通する課題について検討をしよう   |
| 30m    | 【質疑応答】<br>→参加者からの質問に応答していく   | 【質疑応答】<br>→提示された課題について検討するために必要な情報収集を行う<br>→事例提供者が考察を深めることができるような質問をしていく          | ①事例提供者の実践を批判や出た意見の批判をしない<br>②検討したい課題について必要な情報収集を行う<br>③事例提供者が自らの実践課題や考察を深めができるような質問をしよう<br>④参加者それぞれが、自分の実践にひきつけて考え、自分の「かかわり」を振り返ってみよう |
|        | 【協議・検討】<br>各自の考えを出し合いながら、課題に基づく話し合いを活発に行う。<br>全員が話し合いに参加できているか確認し、協力し合いながら進める。 |   | ①率直に考えを話し合える雰囲気を作ろう<br>②他者の意見に耳を傾ける姿勢をもとう<br>③人の意見を取り入れて自身の意見を再考しよう   |
| 5m     |  | 【各自の気づきのコメントと提供者への労い】<br>→事例提供者からのコメントを聞き、また協議中に自分が考察したことを述べる<br>→事例提供者へのねぎらいを述べる | ①自分自身が学べたことを言語化しよう<br>②事例提供者や参加者相互に労いあおう  |
| 3m     | 【気づきのコメント】<br>→質疑応答の過程や協議を経て、自分が気づいたこと「自己洞察」「実践の省察」「今後の実践課題」等を述べる              |   |   |
| 2m     | 【まとめ】  |   |   |

## ②地域の課題、協議会で話し合うことの共有（45分）

【15：55～16：40】

- 【資料⑨】ワークシート4を活用して、グループで話し合いをしてください

- 話し合うテーマ

- ・ GSVの感想（「事前課題3」を振り返りながら）
- ・ GSVを通して考える地域課題と、自分の地域の協議会ではどうするか
- ・ 自分の地域でスーパービジョンの機会はあるか、ある場合はどうしているか。ない場合はどうしたら良いか
- ・ 主任相談支援専門員として地域で活躍するための、市町や県全体のあり方(研修、連絡会の企画など)について 等

## ③全体共有（15分）

【16：40～16：55】

- 各グループ（3県全てのグループ）から、グループワークで話し合われた内容を発表いただきます

- 1グループ、2分程度でお願いします

# まとめ（15分）

## 【16：55～17：10】

- 講師からのコメント
- 振り返りシート（本日午前からの分を通して）記入